

■全体講座■ 10:00~12:00

# 『東日本大震災 その日・それから』



講師：鈴木由美子さん(宮城・現 亶理町立吉田保育所所長  
前 亶理町立荒浜保育所所長)

仙台平野の南、海に近い場所にある亶理町立荒浜保育所の所長であった鈴木さんから、2011年3月11日、どのようなことが起こり、どのように子どもたちの命を守ったのか、その体験談をもとに保育所、保育者として求められることは何かを考えてみましょう。  
※季刊256号をお持ちの方はご持参下さい。当日販売もしています。

■分科会■ 13:15~16:00

各定員30名

## A 「寄り添う保育の大切さ」

本岩寛子さん・長尾鈴子さん  
(あかねの風保育園 0歳児クラス)

- ①0歳児保育で大切にしてきたこと
  - ②泣きの多かったAくんの姿を通して
  - ③親の気持ちに寄り添う保育の大切さ
  - ④徹底的に付き合う保育
- 以上の4点を柱に話を深めていきましょう。

## B 「一人一人が大事にされる 集団づくり -伝え合い保育の実践-」

相原達也さん(豊川保育園 3歳児クラス)  
半田智美さん(平塚幼稚園 5歳児クラス)

子どもの人と関わる力が育つために、保育者が子どもたちの姿から、どんなことを捉えていけたらよいのでしょうか。3歳・5歳の実践提案を交えながら、考え合ひましょう。

## C 「震災からみえてきたこと -保育園、保育者の役割と 防災対策-」

午前中の鈴木さんの話から、荒浜保育所にボランティアに行った方の話も交えて、地域の中での保育園、幼稚園、保育者の役割と防災対策について深めていきましょう。

## D 「絵本から始まった 憧れの池づくり -生き物との関わりを通じて-」

高見亮平さん(都内保育園 4歳児クラス)

ある時、読んだ一冊の絵本は池をつくり、虫が集まるという物語。池は自分たちでもつくれることが分かった子どもたちが池づくりを始めます。話し合い、描画、絵本づくりと今も様々な形で続いている池作りの実践経過報告です。

日時 **2012年11月11日(日)**  
時間 **10:00~16:00** 受付 9:30~  
会場 **文京区民センター 3F**

文京区本郷4-15-14 TEL: 03-3814-6731

都営三田線・大江戸線「春日駅A2出口」徒歩2分  
東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園駅6番出口」徒歩5分

参加費 一般1200円／保問研会員1000円／学生700円



東京保問研

秋のセミナー  
保育に求められる「今」と



